

Activity Report

奈良YMCA活動報告 2025—2026



サッカークラス



スイミングレギュラーコース



あきしのこども園



野外活動げんきっこクラブ



奈良YMCAアートアカデミー作品展



Vision

互いを認め合う

「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。「ポジティブネット」 Positive Net は、日本の YMCA が作った造語で、互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。課題の多い社会のなかで、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。私たち日本の YMCA は、グローバルなネットワーク基盤を活かしてポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

— YMCA が実現したい世の中の姿 —

奈良YMCAの沿革

- 1962年 奈良YMCAを発足し、奈良市角振町にて地域の青少年を対象としたプログラムを始める
- 1967年 財団法人設立の認可を受け登記する
- 1970年 奈良市西大寺国見町に青少年センターを建設する
- 1980年 別館（芸術文化センター）を建設・開所する
- 1982年 創立20周年記念事業としてスイミングプールが建設される
- 1994年 韓国・慶州 YMCA とパートナーシップを締結する
フリースクールを開校する
- 1995年 阪神淡路大震災救援ボランティアを募集、延べ約1,800名のボランティアが救援活動を実施
- 1996年 秋篠町に新サッカーグラウンドをオープンする
- 1997年 発達障がい児・者サポートクラスを開校する
- 1998年 「奈良 YMCA の使命」を制定する
中国・西安 YMCA とパートナーシップを締結する
- 2012年 創立50周年記念事業として第1回奈良YMCA国際チャリティランを開催
- 2013年 奈良県より公益財団法人として認定を受け、公益財団法人奈良 YMCA と移行する
- 2014年 奈良市より社会福祉法人の認可を受け、社会福祉法人奈良 YMCA 福祉会を設立する
- 2015年 児童発達支援事業所ことりクラブ開設（5月）
YMCA あきしの保育園を開園（8月）
- 2016年 YMCA 西大寺南保育園開園（4月）
- 2017年 創立55周年記念「PRAY IN 奈良」（8月）
フィリピンカガヤンバレーリンゲージ締結（7月）
YMCA あきしの保育園幼保連携型認定こども園に移行（4月）
- 2018年 YMCA なら保育園開園（4月）
- 2021年 多機能型事業所 放課後等デイサービスおおぞら開設（4月）
- 2022年 創立60周年
- 2024年 YMCA なら保育園幼保連携型認定こども園に移行（4月）
社会福祉法人奈良 YMCA 設立10周年（11月）

奈良YMCAの誕生は…

ボランティアの熱い志から始まりました

奈良 YMCA の歴史は、奈良ワイズメンズクラブの「百世の古都奈良に YMCA を設立しよう」という祈りと願い、そしてたゆまぬ努力によって、設立に向けての歩みを始めました。

そして1962年5月1日、奈良市角振町に奈良 YMCA は誕生。設立当時から、地域の少年少女を対象とした子ども会、映画会、中学生英会話クラブ、国際親善クラブや、青年のための教養プログラムとして生け花、英会話、ガイド養成など多彩なプログラムが実施されました。発足当時は様々な困難や課題もありましたが、ボランティアリーダーの養成、地域奉仕活動を YMCA の使命として取り組みました。奈良市少年院への訪問活動、肢体不自由児クリスマス会を行いました。まさに、「キリストの愛と奉仕の業」を社会に向けて具体的に実践して参りました。



【ワイズメンズクラブ国際協会とは】

ワイズメンズクラブは、YMCA の活動を支援する人々による奉仕団体として米国に誕生のち、世界各国で様々な社会貢献活動をし、2022年には100周年を迎えました。

【奈良ワイズメンズクラブ】

奈良ワイズメンズクラブは1950年に設立。
会長 木下 修平

奈良YMCAの使命

奈良 YMCA につどう私たちは、日本 YMCA 基本原則の精神に基づき、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざを実践し、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願うとともに、平和で民主的な社会の実現をめざします。

私たちは、

1. 人々が互いに尊重し、協力しあって、ともに生きる社会の実現につとめます。
2. すべての人々が生涯にわたる学びをとおして、自己の成長をはかれるよう、学習の場と機会を提供します。
3. ボランティア精神を育てる場とネットワークを創り出し、地域と国際社会に貢献します。
4. すべての生命をいっしょに守る大切さを認識し、人と自然が共生できる地球環境を守ります。
5. 世界の人々との交流をはかり、難民や発展途上国の困難さや痛みを分かち合い、正義と公正社会の実現に努力します。
6. アジアにおける日本の歴史的課題を学びつつ、世界平和実現のために祈り、行動します。

1998年3月31日制定 奈良 YMCA 基本原則検討委員会

2025 年度 年間基本聖句

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。
見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。

コリントの信徒への手紙二 4章 18節

ご挨拶

2026年も米国のベネズエラ攻撃という衝撃の年明けとなりました。世界を見渡せば、常にどこかで戦争や紛争が存在するのが人類の歴史です。国内でも1867年の明治維新以来、20年から30年おきに大きな戦争を経験し、明治維新から約80年後に先の大戦の終戦を迎えました。そこから国内では80年間戦争のない平和を謳歌してきました。我々はその平和な世を持続できるのか問われているように感じます。

神が困難な立場にある人と同じように苦しまれたように、我々はもう一度原点に立ち寄り、「世界を見つめ、地域に生きる」とはどう行動することなのかを考える年にしたいと思い活動してまいりました。また、世界から奈良、奈良から世界へつながっていることを感じながら、奈良 YMCA に連なるすべての人が一つとなることを目指し以下の活動を特に力を注ぎました。

- ◆ 未来ある子どもたちの育ちを支えるために、「キリスト教を柱とした子育て・子育て」プログラムを強化し、また、子育て支援プログラムの充実を図ります
- ◆ ポジティブネットのある豊かな社会実現のために、障がいをお持ちの方や困難な立場にある方と共に歩みます
- ◆ 野外活動やウォーターセーフティーキャンペーンを通して、神さまから与えられたかけがえない命の大切さを感じる機会をつくります
- ◆ 地域の様々な団体とのつながりを大切にし、地域の方々と共に YMCA 運動を展開します
- ◆ 海外のパートナー YMCA との交流を再開し、ユースの派遣など世界で協力しあえる関係を強化します

これからも公益財団法人、社会福祉法人が一枚岩となって、愛と奉仕の業を実践し、互いを認め高め合うポジティブネットのある豊かな社会創造に努めてまいります。今後も YMCA をお支えいただきますようお願い致します。感謝とともに、2025年度活動報告とさせていただきます。



会長 北林 秀彦



常議員会議長 前田 敏宏



総主事 上地 信親

青少年センター



幼児基礎体育クラス



器械体操クラス



野外活動トムソーヤクラブ



ハチ高原わくわくスキーキャンプ



やまびこキャンプ

青少年センター

未だ園児クラスは、2歳児の総合教育クラス（こぐまクラス）として実施しました。幼稚園に入園する前に初めて母子分離を経験し、集団生活の中で、製作や歌、楽器やリズム体操、体育館での運動遊びを体験し学びました。5月は平城宮跡でハイキング、11月には芋ほり体験、親子遠足で楽しい時間を過ごしました。初めての母子分離で保護者の方々とコミュニケーションや報告を密に行い、子どもたちや保護者の方々と良い信頼関係を作ることができました。クリスマス会ではダンスと歌、年度末には劇を発表し、子どもたちの成長した姿を保護者の方にも見ていただくことができました。また、新たな取り組みとして、10月から1歳児を対象とした「プチこぐまクラス」をスタートしました。10月は親子での触れ合い遊びや体操・製作を行い、11月からは3回のコースに分けて母子分離クラスを行いました。プチこぐまクラスを体験し、9名の方が2026年度のこぐまクラスに参加してくれています。

幼児基礎体育クラス・小学生基礎体育クラスは、ひとりひとりの子どもたちに合った指導を大切にプログラムを実施しました。種目ごとのバッジテストを実施しておりますが、獲得したバッジの結果よりも、分習法を用いながら、子どもたちがその過程でどのような工夫をして成長したかを大切にクラス運営しました。成長する中で、子どもたちが出来るようになったことに自信をつけ、さらに次の段階へチャレンジしていく姿がたくさん見られました。ユーススポーツコースは、サッカー、器械体操、新体操、バスケットボールの初心者対象コースを始めとし、サッカー、新体操ではより競技的に取り組む選手コースも設定し、それぞれのニーズに応じたプログラムを提供することができました。全てのクラスで個々の成長に寄り添い、ひとりひとりにあった指導や言葉かけを大切にしながら、スポーツを楽しむことをテーマに取り組んでいます。また、プログラムの中で、頑張れば手が届く一歩先の目標設定を大切にしながら、技術を向上していくことができました。成果発表の場として、サッカーでは全国 YMCA サッカー交流会、バスケットボールでは中・西日本 YMCA ユースバスケットボール大会、器械体操では、YMCA 杯に参加し、他の YMCA のお友だちやリーダーとも交流を深めました。

野外活動は今年度も小学生対象のトムソーヤクラブ、幼児対象のげんきっこクラブを実施しました。ユースリーダーが中心となって毎月のプログラムを企画し、自炊体験・野外フィールドでの活動など、集団の中でさまざまな感性を育む貴重な体験を提供できました。プログラムを通して、子どもたちの成長と共に、次世代を担っていくユースリーダーの活躍の場も提供することができました。

野外特別事業

夏季野外特別プログラムは、キャンプ3コース・集中コースは6コースを設定し、キャンプの阿南海洋キャンプでは、参加者からの要望もあり、中学生も対象に広げ3人の参加者が参加してくれました。集中コースのサッカー集中では、猛暑を考慮し、天候に関わらず冷房のきいた YMCA 体育館で実施し、たくさんの方が参加してくれました。また、新たにリズムダンス2日間、新体操2日間も開催しました。

冬季野外特別プログラムは、キャンプ3コース、集中コース4コースを実施し、新たにキャンプで奥伊吹ビギナスキーデイキャンプを開催しました。雪は少なかったですが、好評で終える事ができました。2月の雪あそびキャンプ、スキーキャンプは積雪量も充分にありメンバーにも満足頂けました。集中コースでは、新たに暖房のきいた YMCA 体育館にて、サッカー集中3日間コースも実施しました。好評でたくさんのお友だちが参加してくれました。

春季野外特別プログラムでは、幼児～小学生まで兄弟姉妹で参加できるデイキャンプと家族でキャンプができるファミリーデイキャンプを開催しました。普段では経験できないプログラムで無事に終える事ができました。集中コースも5コース実施し、新たに新体操2日間コースも実施しました。YMCA でのさまざまな活動を通して、普段では触れ合う事のないお友だち同士の交流、保護者同士の交流、保護者とリーダーとの交流、2025年度は幅広い層に YMCA を理解して頂きました。今後とも深めていきたいと実感しました。



スポーツ教室



サッカー



野外自然学校



ファミリーデイキャンプ



リーダートレーニング



奈良YMCA
インターナショナル・チャリティラン



全国リーダー研修会

ユースリーダー会

小学生対象のトムソーヤクラブ、幼児対象のげんきっクラブでは、ユースリーダーが主体となり、参加者の年齢や興味に応じた毎月のプログラムを企画・運営しました。特に、子どもたちが自ら考え行動できる主体的な活動環境づくりを重視し、自炊体験や自然の中でのフィールド活動を通して、協力する力や挑戦する心を引き出しました。

水泳やサッカー・バスケットボール・器械体操・新体操クラスでは、補助の研修や救急法、クラスで指導する為に必要なトレーニングを各種目行いました。指導者同士のコミュニケーションを大切に、子どもたちへの指導に携わる中で、ユースリーダー自身が創意工夫し、言葉がけの大切さや、それぞれに合った指導方法を考え実践することができました。

それぞれのプログラムで子どもたちと全力で関わり、楽しさを感じると同時に、関わり方の難しさにも直面しました。子ども一人ひとりの思いやペースに寄り添いながら関わることの重要性を学び、ユースリーダーとしての在り方を考える大切な時間を過ごしました。

また、年に一度の全国リーダー研修に参加し、全国のYMCAリーダーとの交流や、グループでの出し物、ヨットやカヌー体験などを通して、多様な価値観や活動の在り方に触れることができました。こうした経験は、自身の視野を広げるとともに、日々の活動に新たな視点を取り入れるきっかけとなりました。

一つひとつの活動や体験が、ユースリーダーにとって日常では学ぶことのできないかけがえのない大きな糧となりました。

本活動は、子どもたちの成長を支えるとともに、次世代を担うリーダーの育成にもつながる、実りある活動となりました。

2025年度の歩み

5月23日(金)	未就園児(こぐまクラス) 平城宮跡ハイキング
6月 7日(土)	夏季プログラム会員受付開始
6月14日(土)	夏季プログラム一般受付開始
7月21日(月)	夏季プログラム開始
7月21日(月)～24日(木)	スポーツ集中コースⅠ期
7月25日(金)・27日(日)	新体操集中コース
7月28日(月)～29日(火)	サッカー淡路キャンプ
7月28日(月)～29日(火)	器械体操キャンプ
7月31日(木)～8月2日(土)	サッカー集中コース
8月 3日(日)～ 4日(月)	幼児やまびこキャンプ
8月 5日(火)～ 8日(金)	スポーツ集中コースⅡ期
8月 9日(土)～11日(月)	阿南海洋キャンプ
8月17日(日)～19日(火)	ハチ高原ネイチャーキャンプ
8月20日(水)～21日(木)	新体操キャンプ
10月11日(土)～13日(月)	全国YMCAリーダー研修会
10月19日(日)	奈良YMCA インターナショナルチャリティラン
10月25日(土)	冬季・春季プログラム 会員WEB受付開始
11月 1日(土)	冬季・春季プログラム 一般WEB受付開始
11月 7日(金)	未就園児(こぐまクラス)芋掘り
11月 9日(日)	奈良YMCA 国際協力募金街頭募金活動
12月14日(日)	奈良YMCAジョイフルクリスマス
12月24日(水)	奥伊吹スキーデイキャンプ
12月25日(木)～28日(日)	スポーツ集中コース
12月25日(木)～28日(日)	サッカー集中コース
2月14日(土)～15日(日)	幼児ゆきんこキャンプ
2月21日(土)～23日(月)	ハチ高原わくわくスキーキャンプ
2月28日(土)	2025年度新年度新規会員WEB受付
3月15日(日)	奈良YMCAリーダー卒業感謝礼拝
3月25日(水)	幼児・小学生 アスレチックデイキャンプ
3月28日(土)	生駒山登山ファミリーデイキャンプ
3月26日(木)～27日(金)	スポーツ集中コース
3月29日(日)～30日(月)	
4月 1日(水)～ 3日(金)	サッカー集中コース
4月 3日(金)・ 5日(日)	新体操集中コース

青少年センター

内 容	参加者数	活動日
幼児クラス (年間)	132名	月～土
少年体育クラス (年間)	44名	月・火・金・土
ユーススポーツクラス (年間)	316名	火～日
野外活動クラブ (年間)	37名	日
知的障がい児体育クラス (年間)	3名	月

野外特別事業

内 容	参加者数	活動日
夏季キャンプ	93名	7月・8月
夏季体育集中クラス	142名	7月・8月
冬季・春季キャンプ	169名	12月・3月
冬季・春季体育集中クラス	124名	12月・3月

スイミング・ ウエルネス

レギュラーコース

2025年度は、様々なプログラムで会員の満足度を上げる取り組みをしました。レギュラークラス以外にも、楽しく遊んでわくわく体験（キッズプラザ大阪）を実施し、子どもたち同士やリーダー達との交流を深める事ができとても好評に終わりました。ファミリープールでは、家族との楽しい時間を提供し、多くの笑顔を見る事ができ、毎年好評のプログラムとなりました。また、ワッペンテスト前の強化練習も、人気のプログラムとなりました。会員一人一人を大切に、一人一人に寄り添った指導を心がけ、安心してYMCAに通ってもらえるよう取り組みました。

地域の活動としては、近隣小学校や中学校の水泳指導や着衣水泳指導の依頼が増えてきました。これは、今までの実績が評価されてきたのではないかと考えています。毎年実施している、ウォーターセーフティーキャンペーンの活動も、全国YMCAで協同しながら活動を強め、1人でも多くの命を守れるよう、より多くの方に伝えていけるよう取り組んでいきます。

短期集中

短期水泳は、夏休み、春休みに実施し、多くの子ども達が参加してくれました。短期水泳は、レギュラークラスと違って、5日間連続で行う事により、目に見えて泳力の上達に効果があるように思います。実際、ワッペンが上がり、喜んでいる子ども達を多く見る事ができました。

短期水泳で実施している親子クラスは、毎回好評で父親の参加率も増えており、レギュラー化できないか今後検討プログラムの一つであります。また、少人数制のプログラムも、一人一人への指導が手厚いため、人気のプログラムとなりました。今後も、ニーズを探りながらプログラムを実施していきたいと思っています。

ウエルネス

会員の皆様の心と身体の健康を守る為に、様々なプログラムを提供してきました。2025年度も、昨年実施して好評だったデイキャンプを実施しました。今年も多くの方が参加し、とても楽しい1日になり、満足度の高いプログラムを実施する事ができました。ヨガやストレッチ教室など、体のバランスを整えるプログラムは非常に人気のプログラムになっています。今後も、様々なプログラムを通して、会員同士の繋がりを深めていき、奈良YMCAが皆様にとっての居場所となるよう取り組んでいきます。また、地域の方々にもYMCAのプログラムに参加してもらえるよう、YMCAの活動を広めていきたいと思っています。



レギュラークラス



着衣水泳



特別プログラム



ウエルネスコース特別プログラム

2025年度の歩み

4月20日(日)	奈良県ジュニア春季水泳記録会(スイムピア奈良)
6月15日(日)	ウォーターセーフティーキャンペーン
6月28日(土)～29日(日)	奈良県選手権水泳競技大会 兼奈良県ジュニア選手権水泳競技大会 兼全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会予選会(スイムピア奈良)
7月27日(日)	奈良県ジュニア夏季水泳記録会(スイムピア奈良)
8月13日(水)～14日(木)	全国YMCA水泳大会 (インフロンア草津アクアティクスセンター)
11月 3日(月・祝)	楽しく遊んでわくわく体験(キッズプラザ大阪)
11月 9日(日)	奈良県ジュニア秋季水泳記録会(スイムピア奈良)
11月16日(日)	YMCA水泳交歓会 奈良YMCA
1月11日(日)	奈良県ジュニア新春水泳記録会(スイムピア奈良)
2月22日(日)	中日本水泳大会 大阪YMCA(神戸常盤アリーナ)
2月21日(土)～22日(日)	全国JOCジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会予選会(スイムピア奈良)

スイミングレギュラーコース

内 容	参加者数	活動日
幼児・小学生水泳クラス(年間)	743名	月～日
障がい児水泳クラス(年間)	3名	日

スイミング短期集中・野外

内 容	参加者数	活動日
夏休み水泳教室	362名	7月・8月
春休み水泳教室	138名	3月

ウエルネス

内 容	参加者数	活動日
ウエルネスコース(年間)	141名	月～日
スクールコース(年間)	31名	月～土



スイミング教室

芸術文化センター



箱庭アート!

アートアカデミー作品展

アロマストーン付 星形リース

デッサンクラス



麺伸ばし体験 (ヌーリングスクール)



音楽院コンサート



ピッコロクラスコンサート

音楽院

1980年に別館が与えられ、45年の月日が経ちました。全国のYMCAの中でも奈良YMCAのように芸術分野のクラスが多種にわたり展開しているYMCAは数多くありません。3歳児から成人の方まで幅広い年齢層の方々にこれまで愛されてきました。

“音楽”の魅力には、感情を瞬時に揺さぶり、心身を癒す力にあります。短い時間のレッスンの間にも、生徒の皆様と先生とが言葉を超えて一体感を生み出し、共鳴や感動を共有しながらコミュニケーションを築いている成果が、音楽院コンサートとピッコロクラスコンサートで、生徒の皆様が繰り広げる演奏は、聞く人に言葉では伝えきれない内面を演奏で表現して発表されていました。昨年からの活動している「ピッコロ音楽サークル」では年間4回活動し、有志ではありますがピッコロクラスの仲間と音楽を通して一体となり楽しみました。4回目には、これまで3回練習してきた合奏曲を披露する企画を試み、ご家族の方々に来場いただきまして合奏曲を発表しご家族の方々にも活動してきた様子を見ていただくことができました。これからも、「生涯を通して楽しめる場」としてあり続けたいと思います。

アートアカデミー

2026年3月14日～15日の2日間を会期とし、生駒市にある「芸術会館 美楽来」を会場とし、「第55回アートアカデミー作品展」を開催致しました。初めての会場でしたが、交通の利便性も良く、生徒の皆様やご家族の皆様にも好評な会場でした。書道・デッサン・洋画・油絵の作品を展示しましたが、会場は鮮やかな絵画の作品と書道の作品とが融合した芸術にふさわしい会場となりました。

児童絵画クラスの作品は、毎年「子ども二科展」に応募しており、今年も11名の作品が入選し11月2日に表彰式が行われました。また、「全国ポストカードデザイン大賞」には、絵画療育クラスの作品を応募し、10点が入選しました。これからも芸術作品の創作と鑑賞を通じて、会員の皆様と共に精神的な豊かさを追求していきたいと思っています。

シーズンプログラム

夏期・冬期・春期と各シーズンも、芸術文化センターでは様々なプログラムを実施致しました。

毎年人気の、サマースクール・ウィンタースクール・スプリングスクールでは、Tシャツ染め、麺伸ばし体験、夏祭りなど色々な企画を実施しました。共働きの多い今、このような日帰りで長時間の預かりはニーズがあり、「次も一緒に参加しよう!」と参加者同士で約束する光景を見ると、価値あるプログラムだと実感しています。

アートコースも、講師の皆様と相談しながら決め実施しました。絵画体験で、キャンバスに絵を描くコースやピアノ4回おためしレッスン、書道体験3日間、リース作りなどお子様から成人の方まで参加してくださいました。

2025年度の歩み

6月 7日(土)	サマープログラム一次web受付
6月14日(土)	サマープログラム二次web受付
7月26日(土)	サマーアート 絵画1日体験「キャンバスに絵を描こう」
7月29日(火)～ 8月 1日(金)	サマースクール 4日間
7月29日(火)～31日(木)	サマーアート 「書道毛筆体験」3日間
8月 2日(土)～ 3日(日)	サマーアート 「箱庭アート!」2日間
10月12日(日)	ピッコロクラスコンサート
10月25日(土)	ウィンター・スプリングプログラム一次web受付
11月 1日(土)	ウィンター・スプリングプログラム二次web受付
11月 2日(日)	二科展表彰式
11月23日(日)	第50回音楽院コンサート1日目
12月 7日(日)	ウィンターアート 「アロマストーン付 星形リース」
12月24日(水)～27日(土)	ウィンタースクール 4日間
1月10日(土)	スプリングプログラムweb一次受付
1月17日(土)	スプリングプログラムweb二次受付
1月25日(日)	第50回音楽院コンサート2日目
2月27日(金)～ 3月27日(金)	わくわくピアノ4回おためしレッスンコース
3月14日(土)～15日(日)	第55回奈良YMCAアートアカデミー作品展 (書道・洋画・油絵・デッサンクラス)
3月25日(水)～27日(金)	スプリングアート 「書道体験」3日間
3月25日(水)～28日(土)	スプリングスクール4日間
3月28日(土)	スプリングアート 「オリジナル扇子を作ろう」
3月29日(日)	スプリングアート 「アロマストーン小物入れ」

音楽院

内 容	参加者数	活動日
幼児・青少年音楽クラス (通年)	36名	月～日
成人音楽クラス (通年)	84名	月～日
音楽療育クラス (通年)	31名	月～土

アートアカデミー

内 容	参加者数	活動日
幼児・小 絵画造形クラス (通年)	21名	水・土
成人創作クラス (通年) 洋画・油絵・デッサン	20名	金・土・日
少年・成人書道 (通年)	15名	火・木・日
バレエクラス (通年)	22名	月・金・日
絵画療育クラス (通年)	13名	火・土
幼児・小・中・高・成人講習会 (季節)	39名	3コース (夏期)
幼児・小・中・高・成人講習会 (季節)	9名	1コース (冬期)
幼児・小・中・高・成人講習会 (季節)	20名	4コース (春期)
サマー・ウィンター・スプリングスクール (季節)	61名	年間3期



音楽院・アートアカデミー

発達支援事業

児童発達支援 “ことりクラブ”

今年度のことりクラブは、2歳児の利用者が多い1年でした。5歳児までの利用者の中、2歳児はクラスを分けて行っていますが、3歳児や4歳児と一緒に活動するお子様もありました。その場合は、工作や体育あそびは、2歳児向けの手順や課題設定を行い活動しました。3歳児～5歳児と一緒に活動するクラスでは、5歳児さんは、年下のお友だちの見本になったりお世話をしてくれる頼もしい姿に成長を感じました。工作が好きなお子様、体育あそびが好きなお子様、うたを歌ったり、楽器遊びが好きなお子様、お母さんと離れて泣くお子様と様々ですが、ひとり一人参加している時間はとても一生懸命に頑張っており、泣き顔も笑顔に変わっていきました。

期間限定のプール遊びは、10回実施しました。顔を水につけることやシャワーも嫌だったお友だちが、10回継続すると、顔の全部はいかなくとも鼻や口を水につけられたり、頭から水をかぶっても平気になっていき、生き生きと水あそびができるようになりました。できたことを瞬時に称賛することの大切さを引き続き行い、成長へ繋げていきたいと思います。



ことりクラブ「お店やさんごっこ」



音楽あそび



自由画をかこう



流しそうめん



天王寺動物園へお出かけ

放課後等デイサービス “おおぞら”

放課後等デイサービスおおぞらは、子どもたちの繋がりが更に深まった1年となりました。2年以上同じクラスで活動する子どもたちがほとんどで、名前呼び合い毎週賑やかな教室でした。時には揉めることもあり、その時は自分たちで解決したりリーダーがサポートに入り解決したりとどう折り合いをつけるかなど活動を通して子どもたちは経験しました。

平日の教室で過ごすクラスでは、勝敗のあるゲームをして勝ち負けを受け入れる。伝達ゲームでは相手にわかりやすく言葉で伝える。など苦手とする課題設定に挑戦しました。運動のクラスでは、ボディバランスを養ったり、体幹を強化することを毎週取り入れたり、今年度は「空間認知」に目を向けてプログラムを継続した月もありました。苦手とすることには参加しない子どもたちも、プログラムの内容が取り組みやすかったりおもしろそうだと思うと「やってみよう」と思い、できた時には「また、やってみよう」と意欲的に参加するようになりました。土曜日のクラスでは、外へお出かけする企画やクッキングを多く実施しました。お出かけはみんな大好きで、電車に乗ることやバスに乗って移動することが楽しかったようでした。また、クッキングも人気のプログラムで、パフェ・クッキー・ゼリー・流しそうめんなどを作り、みんなで協力することを学びながら活動しました。今後も、楽しく過ごせるおおぞらにしていきたいと思います。

個別学習 “STEP”

個別学習 STEP は、講師の先生が個人に合わせた学習方法で、指導くださいました。学校のテスト対策もしっかり行い、長期休暇期間には、夏期講習・冬期講習・春期講習も実施し、苦手とすることを克服したり、復習を行ったりとひとり一人に寄り添った指導ができました。

内 容	参加者数	活動日
児童発達支援 ことりクラブ	22名	月～金
放課後等デイサービス おおぞら	26名	月・火・水・金・土
個別学習 “STEP”	6名	月・火・水・木・土



発達支援

2025年度の歩み

児童発達支援“ことりクラブ” 放課後等デイサービス“おおぞら”

4月 5日(土)	放課後等デイサービス「おおぞら」新規登録者説明会
4月14日(月)	「ことりクラブ」「おおぞら」2025年度開始
5月～7月・9月	「ことりクラブ」プール活動 毎週木曜日午前
12月21日(日)	おおぞら冬の特別プログラム「さくらサカスを観に行こう」
3月22日(日)	ことりクラブ・おおぞら春の合同館外プログラム「レゴランドへ行こう」
3月23日(月)	ことりクラブ・おおぞら 2025年度終了

個別学習“STEP”

4月14日(月)	“STEP”2025年度開始
7月18日(金)	1学期終了
7月19日(土)～25日(金)	1学期末面談
7月29日(火)～8月30日(土)	夏期学習(休館日を除く)
9月 1日(月)	2学期開始
12月10(水)～16日(火)	2学期末面談
12月23日(火)～ 1月10日(土)	冬期学習(休館日除く)
1月13日(火)	3学期開始
3月16日(月)	3学期終了
3月17日(火)～21日(土)	3学期末面談
3月24日(火)～4月4日(土)	春期学習

子育て支援事業



夏の館外特別プログラム「京都水族館へ行こう!」



クリスマス会

アフタースクール “ポップクラブ”

「仕事」と「育児」を両立させるための子育てサポート、“ポップクラブ”では子ども同士の関係作りやコミュニケーション能力獲得や、集団活動を通して自主性・主体性・創造性を養える環境を提供しています。高学年のお友だちは、年下のお友だちのお世話をしたり、また、低学年のお友だちは高学年のお兄さん、お姉さんに憧れたりと異年齢が同じ空間で過ごす良さもあり、とても賑やかな1年でした。夏のお出かけプログラムでは、今年は「京都水族館」へ行きましたが、公共マナーを守りながら、館内を見る場所などもみんなで決めたり、生き物を見て共感したりと普段のポップクラブと一緒に過ごさないお友だちとも繋がりを深められる1日となりました。長期休暇中は、午前からの預かりをしており利用する子どもたちが、今年も子育て広場“エンジェル”へ出向き、大型絵本を読んだり、一緒におもちゃで遊ぶなどお兄さん、お姉さんぶりを発揮していました。これからも、「思いやり・誠実さ・責任感・尊敬心」の4つの価値を意識し、毎日の保育の中で子どもたちに伝えたいと願っています。

アフタースクール “ポップクラブ” 2025年度の歩み

8月 8日(金)	夏の館外特別プログラム「京都水族館へ行こう!」
8月21日(木)	映画会
12月18日(木)	クリスマス会
12月26日(金)	大掃除
1月～ 3月	新入会面接期間
3月25日(水)～4月11日(土)	2025年度写真販売
*各月に誕生日会実施	

奈良市子育て広場 エンジェル

子育て広場エンジェルは開所して2年目を迎え、リピーターの方や新規の利用の方も続々と増え、毎日広場から賑やかな声が聞こえています。広場では毎月1～2回様々な講座を実施し、今年度は利用者の方にアンケートにご協力頂き、その声を参考に講座内容を考えました。クリスマスや節分など季節を感じられる遊びやピアノに合わせて歌やダンスなど、普段家では味わう事の出来ない遊びを取り入れ、親子で一緒に楽しみました。また低月齢のお子様の利用も増え、「親子共々友だちになりたい、子育てについて話したい」との声から、年間通して数回に分け年齢別の親子ふれあい遊びとトークタイムを実施しました。講座を参加した事がきっかけで親しくなり、その後も広場を待ち合わせ場所として利用して頂き「プライベートでも遊ぶようになりました」と楽しそうに話されていました。今年度3月の「体育館で遊ぼう」では体を十分動かして遊んだ後、参加者全員でお弁当を囲み、和やかな雰囲気の中で交流を深める事が出来て、広場が親子同士仲良くなるきっかけの場となり職員一同とても嬉しく感じています。開所から2年が経ち、お子様の成長と一緒に喜びながら保育園等への入園を見送る機会も増え、職員と利用者の皆さまとの繋がりの大切さと広場の重要性を日々実感する事ができました。今後も利用者の方にとって、繋がりを感じられる居場所となり、新たな出会いや関係作りのきっかけとなるエンジェルであり続けられるよう職員一同、傍で見守りながら寄り添って関わっていきたいと思います。

奈良市子育て広場 エンジェル 2025年度 毎月の講座

4月17日(木)	親子ふれあい遊び(0歳児)
4月24日(木)	エンジェルタイム(学生ボランティアの読み聞かせ会)
4月30日(水)	親子ふれあい遊び(1歳児)
5月19日(月)	YMCA西大寺南保育園との交流会
5月21日(水)	YMCA西大寺南保育園との交流会
5月27日(火)	体を使って遊ぼう
6月14日(土)	家族で体を使って遊ぼう
6月30日(月)	親子ふれあい遊び(0歳児)
7月 8日(火)	ピアノに合わせてリズム遊びを楽しみましょう
7月24日(木)	親子ふれあい遊び(1歳児)
7月30日(水)	スタンプ遊びをしよう
7月31日(木)	学童保育(ポップクラブ)との交流会
8月20日(水)	感触遊び
8月21日(木)	感触遊び
8月28日(木)	YMCA西大寺南保育園のお友だちと体育館で遊ぼう
9月11日(木)	プールで遊ぼう
9月17日(水)	リボンで遊ぼう

9月25日(木)	ファミリートーク
10月 2日(木)	YMCA西大寺南保育園合同 交通安全教室
10月 6日(月)	体を動かして遊ぼう
10月28日(火)	YMCA西大寺南保育園との交流会
10月29日(水)	YMCA西大寺南保育園との交流会
11月13日(木)	のびのび講座
11月15日(土)	家族で遊ぼう
11月27日(木)	月齢別絵本の紹介・読み聞かせ会
12月11日(水)	クリスマス飾りを作ろう
12月23日(火)	エンジェルクリスマス会
12月25日(木)	学童保育(ポップクラブ)との交流会
1月24日(土)	エプロンシアター(おべんとうバス)
2月 3日(火)	豆まきをして遊ぼう
2月18日(水)	親子ふれあい遊び(0歳児)
2月19日(木)	親子ふれあい遊び(1歳児)
3月17日(火)	ペープサート(3びきのこぶた)
3月25日(水)	体育館で遊ぼう・みんなでお弁当を食べよう



体育館でお弁当を食べよう



感触遊び



親子ふれあい遊び



子育て支援

社会福祉事業



室内遊び

幼保連携型認定こども園 YMCA あきしのこども園

乳児クラスでは、不安な気持ちや自分の思いを十分に出す子どもたちの姿に寄り添いながら過ごしました。水遊びや夏の開放的な遊びを十分に経験することで、友だちとの関わりが増えていき、言葉も増えていきました。

「いれて」「いっしょにしよう」と言いながら、お友だちと同じ遊びを楽しむようになりました。幼児クラスで計画をした夏フェス等に参加する機会も持ち、嬉しそうに一緒に遊んでいました。今後も乳児の子どもたちが幼児クラスの子と過ごす機会を大切にしていきたいと思います。幼児クラスの遠足やキャンプは自然体験を目的とした場所に行きました。見上げるほどの大きな木に出会ったり広場を走ったり、ネイチャーゲームも楽しみました。5歳児クラスの子どもたちは、保育室にお化け屋敷を作ったり、お別れ遠足で京都水族館に行った後は水族館を作り、受付や売店の係になったり、イルカやアシカになってショーを見せてくれました。いつも他のクラスの友だちを招待してくれて、園全体の異年齢交流の機会になりました。年下児に優しく話しかけてお世話をしていました。乳児クラスの子どもたちも年上児と楽しく過ごすことができました。

これからも子どもたちが色々な場面で気持ちや思いを表現できる姿を大切に、保護者の方と成長を喜び合いながら安心して過ごせる園を目指していきたいです。



夏フェス



園内夏祭り

YMCA 西大寺南保育園

子どもと職員・保護者が互いを身近に感じられる家庭的な環境の中で、「みんながみんなを知っている場所」であることを大切に毎日を送ってきました。小規模保育園の特性を生かしながら、一人一人の声に耳を傾け、子どもと丁寧に関わりながら、安心して過ごせる環境作りをしてきました。今年度も食育の一環で春にはプランターに野菜の苗植えをしました。子どもたちは水やりを一生懸命に頑張ってくれました。夏には収穫が出来、給食で食べたり、皮むきや葉物をちぎってお手伝いもしました。苦手だった野菜も少しずつ食べれるようになった子どももいました。秋ごろになると、チョッパーを使って野菜のみじん切りや皮むき器を使って野菜の皮むきのお手伝いもしました。一年を通して食育に力を入れることが出来ました。夏には水遊びをたくさんすることが出来ました。園庭では噴水マットや色水遊び、氷遊びや寒天遊び等「水・感触・自然」を取り入れ存分に楽しむことが出来ました。

また、今年度は子どもたちからお祭りに行きたいとの声があったので、保育園で初めてのお祭り遊びをしました。職員も子どもたちも法被や甚平、お気に入りの服を着て提灯がぶら下がったお祭り会場に集まりました。人形すくいやうちわ作り、ベビーカーステラやカレーを食べてみんなでひと時を楽しみました。

2歳児は小規模保育園・ならこども園・あきしのこども園・エンジェルのお友だちとの交流会も行いました。いつもは人数が少ないところで活動しているため、大人数に驚いていましたが、知らないお友だちと一緒に遊ぶ経験もすることが出来ました。

ハロウィン遊びやクリスマス礼拝、おもちゃつき、節分遊び等季節に応じて様々な体験もし、一回りも二回りも子どもたちは成長したと思います。今年度もお祈りや讃美歌を歌う中で神様を近くに感じ、子どもたちは元気に過ごすことが出来ました。



野菜の収穫



大きな鮭を捌いたのを見ました

幼保連携型認定こども園 YMCA ならこども園

2025年度のならこども園は、教育、保護者との連携を強めた行事を新しく開催することができました。こども園では保育園の養護の部分に加え、教育部分も必要となります。「遊びの中で数字や生物、空間認知などの様々な教育的要素にどのように触れていくか、興味を持つ取り組み」をテーマに職員一同で考え実施してきました。また、開かれた園にするためにも、保護者の方に毎月の誕生会、クリスマス会、もちつきなどの行事にも保育参加していただきました。乳児クラスは離乳食作りの会を開催し、園での活動や子どもたちの育ちを共有する場にしてきました。遠足では春には4・5歳児が合同遠足、秋には3・4歳児が合同で遠足に出掛け自然の中でそれぞれ体験を楽しみました。他にも、奈良県魚食普及協議会に来園していただき鮭を丸ごと一匹捌いていただきました。目を輝かせてみていた子どもたちがとても印象的でした。幼児クラスは鮭を「ちゃんちゃん焼き」に調理し、おいしくいただきました。魚の生態を知ったり、命をいただくこと、調理して自分の口に入る過程を知ったり、様々なことを体験できました。運動会あそびでは、地域の伏見小学校の体育館を貸していただき、開園してから初めて幼児クラス3園合同での運動会あそびを開催することができました。また、幼児クラスでは縦割りでの活動として幼児クラスは「にじいろタイム」を開催し、テーマに沿ったコーナー遊びを年上児、年下児と一緒に楽しむ活動も展開してきました。乳児クラス2歳児クラスは西大寺南の2歳児クラスと合同で本館の体育館で体を動かし、交流することもできました。また、積み木「KAPLA」で遊ぶワークショップは、専門のインストラクターを招いて4・5歳児クラスと職員で楽しむ時間も持ちました。年長児クラスが全員で協力して作り上げた、大阪万博「大屋根リング」には感動しました。全員で協力して作り上げる達成感、遊びの中のルールを守る心、集中力、葛藤や調整力など様々な社会性もこの遊びを通して、子どもたちを育ててくれています。2026年度も遊びを通して、様々な経験をして何度も試行錯誤できるような経験を大切にしていきたいと思います。そして、引き続き園が安心できる場所になれるように一人ひとりを大切にしていきます。



年長児で創り上げたKAPLA
積み木の大阪万博大屋根リング

2025年度の歩み

YMCAあきしのこども園

4月22日(火)	進級式
5月23日(金)	5歳児遠足
5月30日(金)	4歳児遠足
6月 4日(水)～ 5日(木)	4歳児ディサービスIKI IKIと交流会
6月 6日(金)	3歳児遠足
6月13日(金)	5歳児介護老人保健施設 秋篠と交流会
7月25日(金)～26日(土)	4歳児お泊り保育
10月18日(土)	運動会
11月 6日(木)	3歳児遠足
11月 7日(金)	4歳児遠足
11月14日(金)	4歳児ディサービスIKI IKIと交流会
11月21日(金)～22日(土)	5歳児キャンプ(京都リトリートセンター)
11月29日(土)	お楽しみ会
12月 5日(金)	もちつき
12月18日(木)	4歳児ディサービスIKI IKIと交流会
12月19日(金)	クリスマス礼拝
2月 9日(月)～10日(火)	YMCA西大寺南保育園交流会
2月27日(金)	5歳児お別れ遠足(京都水族館)
3月 6日(金)	お別れ会
3月13日(金)	卒園式
3月18日(水)	5歳児介護老人保健施設 秋篠と交流会

YMCA西大寺南保育園

4月18日(金)	進級式
6月 6日(金)	2歳児春の遠足
10月 2日(木)	交通安全教室
11月 6日(木)	2歳児秋の遠足
11月13日(木)	小規模交流会
12月 4日(木)	もちつき
12月10日(水)	ならこども園交流会
12月18日(木)	クリスマス礼拝・祝会
2月 9日(月)～10日(火)	あきしのこども園交流会
3月16日(月)	お別れ会
3月28日(土)	修了式

YMCAならこども園

5月30日(金)	5・4歳児遠足
6月 6日(金)	3歳児遠足
6月28日(土)	乳児クラス保護者対象給食会
7月18日(金)～19日(土)	4歳児お泊り保育
9月 5日(金)	夏祭り
10月 3日(金)	3・4歳児遠足
10月 9日(木)	交通安全教室
10月25日(土)	運動会あそび
11月 7日(金)～ 8日(土)	5歳児リトリートセンターお泊りキャンプ
12月 4日(木)	もちつき
12月18日(木)	クリスマス礼拝
3月13日(金)	お別れ遠足
3月19日(木)	卒園式
3月26日(木)	お別れ会

YMCA あきしのこども園

クラス年齢	在園人数
0歳児	15名
1歳児	24名
2歳児	24名
3歳児	26名
4歳児	26名
5歳児	26名
合 計	141名

YMCA 西大寺南保育園

クラス年齢	在園人数
0歳児	5名
1歳児	7名
2歳児	9名
合 計	21名

YMCA ならこども園

クラス年齢	在園人数
0歳児	12名
1歳児	16名
2歳児	15名
3歳児	23名
4歳児	20名
5歳児	16名
合 計	102名



保育園

私たちは障がいのある子どもたちを応援します。

第14回 奈良 YMCA インターナショナル・チャリティーラン2025

第14回 奈良 YMCA インターナショナル・チャリティーラン2025が、2025年10月19日（日）、世界遺産である奈良市平城宮跡で実施されました。個人ランナー 31名、団体駅伝15チーム・75名、グループランナー 29組・111名、参加者合計217名、協力者70名、応援約150名の総勢約450名の大会規模となりました。YMCA インターナショナル・チャリティーランは、全国の YMCA が障がい児支援を目的に実施され、障がいのある子どもでもない子ども共に幸せに生きていくことのできる社会を目指して開催されています。

今年は、早朝から雨が降り少し不安な中大会が始まりましたが、大会が始まると雨もやみ、無事に大会を実施する事ができました。今年も、コスチューム賞や特別賞を設定し、多くの方が工夫を凝らしたコスチュームで、皆を楽しませてくれました。

奈良 YMCA のチャリティーランは、多くの方楽しんでもらうために、競技以外にも保育士による『うちわづくり』や『塗り絵』のブースを用意しました。参加者の方や応援の方にも、競技前後も楽しんでいただく事ができました。

協賛金と参加費協賛金を合わせまして、総額1,234,562円の寄付金を頂きました。この集められた収益金は障がい児やサポートを必要とする子どもたちのための支援金として活用させていただきます。大会趣旨にご賛同、ご支援、ご協力頂いた皆様ありがとうございました。

【全国協賛】三菱商事（株）、（株）アシックス

【プライズ・スポンサー】マテル・インターナショナル（株）

【サポート・スポンサー】非営利活動法人アンリッシュ・ポテンシャル

【奈良大会メインスポンサー】トヨタユナイテッド奈良株式会社

【大会委員長】パリ2024パラリンピック競技大会競泳メダリスト富田宇宙選手



2025年度奈良YMCA定期会員総会・講演会

7月6日（日）奈良商工会議所にて、2025年度奈良 YMCA 定期会員総会を開催しました。

- 一部 開会礼拝
- 二部 定期会員総会
- 三部 講演会&茶話会

の構成で行いました。

一部では、日本基督教団奈良教会 平松牧師先生に「見えないもの」と題し、お話いただきました。

二部では、定期会員総会を行い、審議と奈良 YMCA の2024年度の活動報告をスライドショーにて発表しました。活動報告として学生リーダーによるインターナショナルユースコンポジション研修 in ドバイの発表、子育て広場エンジェルの報告、スマートクロック導入の報告など各部門のスタッフ・

職員と学生ユースリーダーとで発表しました。

三部では、奈良 YMCA プログラム会員 OG であり、現在 KRY 山口放送のアナウンサーである畑中里咲さんをお招きし、「YMCA と私」という演題で当時の事やスイミングスクールで得たこと、新体操で得たことが今に生きていることを話してくれました。

卒業後もこのように快く帰ってきてくれて顔を合わすことができるのは、とても嬉しく素敵な事で、YMCA でしか出来ない事だと思います。

You Must Come Again



KRY 山口放送アナウンサー
畑中里咲さん



国際協力募金

2025年11月1日から2026年1月31日の期間で国際協力キャンペーンを実施しました。貧困で苦しむ人への支援、子どもの教育支援、戦争や紛争で傷ついた人のケア、災害支援など世界に広がるネットワークを通して取り組みました。

今年度は昨年度からの取り組みを継続して、「国際協力募金ワールドマップ」に取り組むと共に、国際理解学習の機会として、マップの進行に合わせてクイズ形式で世界の国について学習する「世界学び隊」を実施しました。子どもたちは、募金箱が集まればクラス内で実施するクイズを楽しみに、たくさん募金箱を持ってきてくれました。

また11月9日には県内4カ所（大和西大寺駅・近鉄奈良駅・JR奈良駅・生駒駅）で「街頭募金」を実施しました。今年度は、横幕をYMCA新ロゴ・英語表記バージョンにリニューアルしました。子ども51名、大人26名の合計77名の方にご参加いただき、子どもたちが中心となり、大きな声を出して、募金の呼びかけを行いました。悪天候の中募金活動を頑張る子どもたちを目にし、立ち止まって募金してくださる方がたくさんおり、子どもたちも自分たちの取り組みに応じてもらえる嬉しさを話してくれました。上記活動のほかにも、「プールチャリティー」「チャリティー親子サッカー」を実施し、楽しくイベントに参加してもらいながら、募金活動の趣旨について多くの方に知ってもらえる機会となりました。ご支援・ご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。

【募金総額】 543,201円

【募金使途】

（委託先）

（公財）日本YMCA 同盟国際協力募金

（委託金額）

300,000円

【後援】 奈良県・奈良市

【協賛団体】 明光開発（株）、リフレ建設（株）

【協力団体】 こみやま、有限会社グリーンスポーツ、

日本基督教団奈良教会

（順不同・敬称略）



地域奉仕事業

1. 中学校職場体験

富雄南中学校 11月 5日(水) 6日(木) 7日(金)

伏見中学校 10月22日(水) 23日(木) 24日(金)

2. 水の安全キャンペーン

実施日 6月～8月

内容 YMCA 水上安全ハンドブックを、近隣幼稚園、保育園、小学校にウォーターセーフティーハンドブックを配布した。

6月15日(日)には、全国YMCAで取り組んでいる、ウォーターセーフティーキャンペーンとして、「みんな泳げる25m運動」や「着衣泳体験会」を実施した。

3. 学校関係指導者派遣

- ・大安寺小学校着衣水泳指導
- ・近畿大学附属小学校水泳指導
- ・一条中学校水泳指導
- ・ならやま小学校水泳指導
- ・奈良保育園附属幼稚園水泳指導
- ・済美小学校着衣水泳指導
- ・親愛幼稚園体操教室(通年)
- ・近畿大学附属幼稚園サッカー教室(通年)
- ・近畿大学附属幼稚園新体操教室(通年)
- ・近畿大学附属幼稚園珠算教室(通年)
- ・近畿大学附属小学校サッカー指導(通年)
- ・白庭台幼稚園サッカー教室(通年)

4. ピンクシャツデー

実施日 2026年2月16日(月)～3月2日(月)

内容 2026年2月16日(月)～3月2日(月)をピンクシャツウィークとし青少年センターやスイミング、ならこども園・あきしのこども園・西大寺南保育園の各部署、各クラスでピンクシャツデーの取り組みを行いました。今年度は、新たな取り組みとして、ゆきんこキャンプやハチ高原わくわくスキーキャンプのなかでもピンクシャツデーの活動を行いました。青少年センターとスイミングでは、ロビーにピンクTシャツがデザインされた紙を設置し、「お友だちの良い所を見つけて書こう!」や「もし、お友だちが悲しい思いや、辛い思いをしていたらあなたならどうする?」をテーマにし、子どもたちがそれぞれの思いを書き、いじめについて考えてもらえる時間としました。

5. 地域行事

伏見小学校いきいきキッズスポーツ教室 5月～1月(月1回)

西大寺まつり 8月2日(土)

大宮まつり 8月10日(日)

伏見まつり 11月1日(土)

西大寺北ふれあいまつり 11月23日(日・祝)

地域の行事に参加し、地域の方々とふれあいながら「ダンス発表」などを行いました。

6. 他団体協力（役員等就任等）

- ・奈良県キャンプ協会常務理事
- ・奈良県クラブユースサッカー連盟副会長
- ・奈良県ユニセフ協会理事
- ・奈良県子ども・若者支援団体協議会理事
- ・奈良市国際交流協会監事
- ・わたぼうし音楽祭審査員
- ・NPO法人スペシャルオリンピックス日本・奈良理事
- ・奈良県体操協合理事
- ・奈良市体操協合理事

賛助会員 (2025年度・敬称略)

〈法人・団体賛助〉

(株)イタクラエナジーズ	代表取締役社長	板倉 昌三
共同精版印刷(株)	代表取締役社長	近東 宏佳
(有)グリーンスポーツ	取締役	横寺 大介
(株)甲南保険センター	代表取締役社長	田中真由美
奈良 OA システム(株)	代表取締役	松本 知
奈良交通(株)	代表取締役社長	田中 耕造
(株)奈良新聞社	代表取締役社長	田中 篤則
前川(株)	代表取締役社長	前川 貴洋
明光開発(株)	代表取締役社長	奥西 信夫
大和信用金庫西大寺支店	支店長	谷井 勝一
リフレ建設(株)	代表取締役	森口 浩一
コール・マスキール		
タリス室内オーケストラ		
奈良 YMCA 善意通訳協会 (E.G.G.)		
ハート・ハース		

以上11社・4団体

〈個人賛助〉

上田 清	佐藤 肇子	山口 孜
植田 國義	高橋 裕子	吉田 全孝
内田 彩子	豊澤 安男	
遠藤 徹郎	林 夏代	
遠藤 通寛	人見 晃弘	
大谷 昌三	姫嶋 淳克	
粕谷 隆	平岩 寛	
神谷 一恵	平田 洋子	
金 智重	細山 勝道	
五味 雅美	望月 強	

以上22名

〈維持会員〉

東 静司	穴戸 秀子	平松 麻那
岩本二三子	穴戸 良朗	藤井 辰男
植田 修二	島村 知歩	前田 敏宏
内田 勝久	杉浦 文子	前田 未帆
貝本 泰男	高井 亮吉	松川 和子
門野 文彦	高田 嘉昭	水田 典男
神崎 清一	高橋 文子	水野 藤男
北林 秀一	田中 幸一	三枝 隆
北林 秀彦	辻 亮	百本 淑子
北林 成子	徳田 健	山口 ルミ
北村 高史	中井 信一	山田 静代
熊巳 由佳	中野 敬一	与語 章浩
蔵之上 潔	鍋島 祥男	吉岡 正昭
佐藤 公一	濱田 勉	渡辺 新久
汐碓 直美	林 佑幸	

以上44名

役員一覧 (2025年度・敬称略)

奈良 YMCA

〈会 長〉	〈常議員会議長〉	佐藤 公一	水田 典男
北林 秀彦	前田 敏宏	中井 信一	(2025年12月7日ご逝去)
		内田 勝久	前川 琴風
〈副会長〉	〈常議員会常議員〉	前田 敏宏	村上 一志
鍋島 祥男	北林 秀彦	北村 高史	山出紗野香
	鍋島 祥男	熊巳 由佳	福井 香
	徳田 健	山口 ルミ	島村 知歩
	濱田 勉	汐碓 直美	上地 信親
	辻 亮	神崎 清一	

公益財団法人奈良 YMCA

〈理事会代表理事〉	〈理 事〉	〈監 事〉	〈評議員会評議員〉
鍋島 祥男	辻 亮	濱田 勉	北村 高史
上地 信親	前田 敏宏	水田 典男	汐碓 直美
	佐藤 公一	(2025年12月7日ご逝去)	中井 信一
	村上 一志	内田 勝久	山口 ルミ
			熊巳 由佳
			神崎 清一

社会福祉法人奈良 YMCA

〈理事会理事長〉	〈理 事〉	〈監 事〉	〈評議員〉
濱田 勉	佐藤 公一	内田 勝久	鍋島 祥男
	瀬川実沙子	徳田 健	瀧口 勇
〈副理事長〉	水口 嘉代		中井 信一
上地 信親	北林 秀一		松野 五郎
	島村 知歩		高橋 豪仁
			村上 一志
			堀内 洋典
			平松 麻那

ボランティアリーダー・研究生

青少年センター 〈ボランティアリーダー〉 岩崎 七海 龍美 琴音 吉村 美咲 田中 愛 城山 朱里 北林里那子 箸尾 泰良	高木 良倅 永見 桜子 中村 泰士 山本 翔生 和田 夏希 大島 陽美 宮田 果乃 二宮 玲 亀井 穂香	内木 ねね 石橋 由有 久保 幸乃 〈サッカー研究生〉 木村 直寛 石丸 裕基 瀧本 楓真 藤川 陽太	瀧川 笑玄 東川 宗生 〈新体操研究生〉 三原安素実 野々村 奏 五百 日和	〈器械体操研究生〉 山本 紗来 西川 潤太 平居 紗耶 〈バスケット研究生〉 山本 翔生 内田 瑞希	スイミング・ウエルネス 〈研究生〉 松木 勝也 佐賀 洸太 中野 太陽 太田 幸佑 岡嶋 綾音 遠藤日向子 松木 海	竹原 歩己 山根 遼斗 天神 颯太	おおぞら 〈学生リーダー〉 徳田 心晴	ポップクラブ 〈学生リーダー〉 岩崎 七海 永見 桜子 數井 詩織 山本 翔生 久保 幸乃 鳶岡 奈緒 蒲池 美月
--	--	--	---	--	---	-------------------------	----------------------------------	--

職員・スタッフ一覧

公益財団法人奈良 YMCA

〈総主事〉 上地 信親 〈次 長〉 村上 一志 〈課 長〉 吉永 俊弘 吉村 宏子 〈指導職〉 西田 美幸 有田 惟純 〈専任講師〉 山本 光彩 野村 一穂 石田 司 上山 華子 岸本 知也 〈事務職〉 西野 智子 竹島 千恵 美馬 祥代 藤本 りか 武田 あき 勝浦 多恵 上原 康予 南岡 幸代 佐伯 亜耶 有賀 佳子 高橋 浩美	青少年センター 〈ユーススポーツ〉 望月 実 松原 唯人 田中 結 大矢 悠平 〈未就・幼児体育〉 小西 真衣 和田 愛子 勝本 聖代 〈ドライバー〉 松本 真明 高原 柄一 入江 彰二 スイミング・ウエルネス 松田 容子 服部富美子 喜多 麻衣 江波 晶代 堀 貴子 柏原 雅幸 中西佳津子 山下 京子 〈フロント〉 佐々木真理子 奥村起代子 飛鳥 博美 大西 功	音楽院 〈ピアノ科〉 谷口 淳子 井村 純子 井村 祐子 大井 裕子 〈ヴァイオリン科〉 富田 朋子 松林 靖子 樽井奈都絵 〈チェロ科〉 高田 能人 〈フルート科〉 桑名 明子 谷 敏子 〈オカリナ科〉 桑名 明子 〈ギター科〉 兜金 幸太 〈マリンバ科〉 大西由利子 〈マンドリン科〉 石村 隆行 〈鼓楽・箏・尺八科〉 森岡有紀子 嶋倉 章子 小林 泰子 大井 裕子 岩室 瑠花 〈リコーダー科〉 財前奈緒子 〈声楽科〉 奥野 泰子 〈ジャズボーカル科〉 藤井 美穂	〈ホルン科〉 佐倉 まゆ 〈二胡科〉 川野 雅子 〈大正琴科〉 有地 康子 〈ギター・クラムボン〉 兜金 幸太 アートアカデミー 〈児童絵画造形教室〉 今西由紀子 岩崎 百 関 智生 安田 隆 御手洗友紀 宮田 稜子 〈絵画・彫刻・ミナモト〉 今西由紀子 橋本 利香 関 智生 岩崎 百 御手洗友紀 宮田 稜子 〈書道教室〉 丸山 宏子 沖垣 幸代 〈バレエ教室〉 高坂 里絵 清水亜希子 山本 裕子
--	--	--	--

社会福祉法人奈良 YMCA

〈事務局長〉 濱田 勉 〈事務局次長〉 上地 信親 〈事務長〉 水口 嘉代 中村 愛純 瀬口 綾幸 吉見 香枝	YMCA おもしろいこども園 〈園 長〉 山出紗野香 〈副園長〉 小只 知美 〈主幹保育教諭〉 山口 絵里 藤川いづみ 和田 真理 松川 有里 南 育実 嶋田 有里 中村 栞菜 葛本 佳子 柿坂 正子 嶋崎麻里菜 小林 夢未 森本 のな 原田 風音 梅野 繫子 山口愛優理 伊藤 千尋 樋野 花音 飛塚 栞奈 吉岡由利子 木村 友香 西尾江里子 福田すが子 西久保千亜希 深草 陽子 松本 幸恵 橋本 悠以 小杉 衣理 平野 寿代 木原 敦子 長井 季子 丸居安里菜 石田 理紗 井岡 由那 明石 茉莉 末永 知世 村井 歩 竹下 綾夏	YMCA 西大寺南保育園 〈園 長〉 瀬川実沙子 〈副主任〉 嶋崎あゆみ 森本麻理紗 坂口 照子 久米 恵実 風呂谷日菜乃 平城あかね 小林 紀沙 須藤 美佳 仲 眞理 田中 礼	YMCA ならこども園 〈園 長〉 福井 香 〈副園長〉 島津 静子 〈主幹保育教諭〉 西山 由衣 内田美智子 竹山 理沙 岩佐 璃子 中原真由佳 北島 芽衣 桑原 晶華 渥美 歩美 猪飼 里香 扇田 実季 田中 愛梨 岩崎 詩歩 北岡永李香 塚本 美空 伊藤 一美 岡村 有沙 西谷 美咲 坂本 浩枝 渡部 実加 和田 典子 皆己 美恵 藤田 礼子 ハワード美夏 芹沢 友香 椎葉 麻衣 松江 早苗 岡田 靖子
---	---	---	---

奈良YMCA賛助会員募集のご案内

皆様からのご支援によって支えられています

障がいのある子どもたちの
プログラム支援



ユースリーダーの養成



国際・地域奉仕



公開講座・研修会



奈良YMCAは、青少年の健全育成、障がいのある子どもたちのサポートプログラム、国際理解、文化教養、様々な世代の皆さんへのウェルネスプログラム、そして、ユース世代のリーダーシップ力養成、国際・地域奉仕や緊急支援など幅広い活動を展開し、心豊かな人々が息づく地域社会づくり、そして平和な世界の実現のために力を注いでいます。これらの活動はYMCA賛助会員の皆様からのご寄付によってお支えいただいております。ぜひ奈良YMCAの活動の趣旨にご賛同いただき、少しでもこれらの活動の輪を大きく広げるため、賛助会員としてご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

賛助会の種類 と年会費

個人賛助会費

A	30,000円以上
B	20,000円以上
C	10,000円以上
D	5,000円以上

法人賛助会費

A	50,000円以上
B	30,000円以上
C	20,000円以上
D	10,000円以上

団体・グループ

A	20,000円以上
B	10,000円以上
C	5,000円以上

寄附金控除・ 税制優遇措置 のご案内

公益財団法人奈良YMCAの賛助会費は、所得税、法人税、一部の自治体の住民税において、それぞれに定められている条件を満たすことで、税制優遇措置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。※なお、税額控除を受けるためには確定申告が必要です。

公益財団法人奈良YMCA本部事務局
<https://www.naraymca.or.jp/>

TEL 0742-45-5920



奈良YMCAの活動拠点



奈良YMCA本館

〒631-0823 奈良市西大寺国見町2-14-1
青少年センター TEL (0742) 44-2207
芸術文化センター・教育センター TEL (0742) 44-2291
法人本部 TEL (0742) 45-5920



奈良YMCAスイミング・ウェルネス

〒631-0824 奈良市西大寺南町14-27
スイミング・ウェルネス TEL (0742) 47-8822



奈良YMCA別館

〒631-0823 奈良市西大寺国見町1-7-31
YMCA西大寺南保育園
TEL (0742) 44-2525
奈良市子育て広場エンジェル
TEL (0742) 44-2291



YMCAあきしのこども園

社会福祉法人奈良YMCA法人本部
〒631-0813 奈良市秋篠新町338
TEL (0742) 49-2525



YMCAならこども園

〒631-0824 奈良市西大寺南町14-24
TEL (0742) 48-2525

奈良YMCA活動報告書 2025 - 2026

発行年月日：2026年7月1日 印刷・製本：共同精版印刷株式会社



FSC® マークは、森林破壊や違法伐採等の環境・社会的な問題のリスクの低い原材料が責任を持って調達され、使用されていることを意味します。